

表 シカゴ連銀経済報告（2021年7月14日公表）

項目	動向	関係者報告・背景
雇用と賃金	雇用は大幅に(strongly)増加 賃金は緩やかに(moderately)上昇	熟練、非熟練を問わず労働者が不足し、特にレストランなど、営業を拡大しようとしている企業では、人手不足のために営業時間が制限される場合もあるとの報告がみられた。人材派遣会社では、求人数は増加、離職率は上昇しており、新しいポジションを見つけるのが容易になったことで、労働者は職場環境、スケジュールの柔軟性、賃金についてより選択的になっているとの声もあった。雇用主、人材派遣会社、労働力開発機関は、労働力供給を制限する重要な要因として、育児の問題、退職、政府からの財政支援を指摘し、新型コロナウイルスによる健康上の安全性に関する労働者の懸念はほとんどなくなったと述べた。
物価	全体的に大幅に(strongly)上昇	物価は今後12カ月で緩やかに上昇すると見込まれている。小売価格は、特に新車および中古車の価格が堅調に上昇しており、要因として堅調な需要、限られた在庫、コスト上昇などが挙げられている。生産者価格は、材料費、エネルギー費、輸送費の上昇により大幅に増加した。特に材料費は、金属、化学製品、電子機器など、多くの分野において増加しているとの報告がみられた。
個人消費	横ばい(flat)	個人消費は高い水準を維持しており、価格上昇は消費意欲の減少につながっていない。娯楽およびサービス関連、特に、レストラン、カジノ、スポーツ会場や国立公園の売店などで、消費の回復がみられた。小売店では、家電製品、食料品、宝飾品、スポーツ用品を中心に好調で、建材や芝生・庭園への支出は減速したものの、高い水準を維持した。軽自動車の新車および中古車販売は、在庫が不足しているものの、利益率は拡大したとの報告がみられた。
企業支出	緩やかに(moderately)増加	小売在庫は多くの品目で低水準にあり、年内は不足が続くとみられている。特に、原材料、金属、マイクロチップ、特殊部品などのサプライチェーンの問題が続いており、2022年まで続く見込まれている。軽自動車の新車および中古車の在庫は減少し、ディーラーは第3四半期末まで新車の在庫は改善しないと予測した。輸送サービスに対する需要は高く、多くの関係者が米国内外からの出荷の遅れを報告した。設備投資は緩やかに増加し、今後1年間で同程度の増加が見込まれる一方で、設備のリードタイムが通常よりはるかに長く、在庫コストの増加が設備投資を抑制しているとの報告がみられた。商用・工業用のエネルギー消費は小幅に増加した。
建設と不動産	ほとんど変化なし (little changed)	住宅用の不動産建築は小幅に減少した。住宅用の不動産は若干増加したが、市場に出回っている住宅の数が少ないため、活動は引き続き限定的となった。商業用の建築は横ばいで、ミシガン州南東部では、コンクリートや鉄鋼の価格が高いため、プロジェクトを延期するケースが増えているとの報告もみられた。商業用の不動産もほとんど変化がなく、価格と賃料は安定していた。
製造業	控えめに (modestly) 増加	多くの分野で新型コロナウイルスまん延以前の水準を上回っているものの、物流や供給の問題が成長の妨げになっているとの報告がみられた。自動車生産台数は、マイクロチップをはじめとする部品の不足が続いているため、ほとんど変化がなかった。鉄鋼の生産はわずかに増加し、稼働率は数年来の高水準となり、自動車を除くほとんどの産業で需要が増加したとの報告がみられた。重機の需要は、建設および農業分野の成長に牽引されて増加した。特殊金属は、すでに高い水準にあった受注量が緩やかに増加した。多くの企業が生産能力をフルに活用しており、材料の不足や、サプライヤーのリードタイムの延長に対応していた。
金融	わずかに (slightly) 改善	ビジネスローンの需要は緩やかに増加した。PPP（給与保護プログラム）ローンの免除に成功した企業は、設備投資のために新たなローンを組むことに抵抗がなくなったとの報告がみられた。ビジネスローンの質は、すべての分野で改善が報告され、わずかに向上した。非常に競争の激しい環境の中で、ビジネスローンの基準は少し緩くなった。消費者ローン需要は若干増加し、特に自動車市場と住宅市場において需要は引き続き高いとの報告がみられた。消費者ローンの質は若干向上したが、与信基準はほとんど変わらなかった。
農業	所得は増加傾向	ほとんどの製品価格が、輸送費、エネルギー、肥料、賃金などのコスト増を相殺するほどの高水準を維持したため、収入は昨年と比べて増加傾向にある。トウモロコシの価格はほとんど変わらず、大豆の価格は若干下がった。トウモロコシと大豆の作付面積は昨年よりも増加したが、当初の予測よりも少なかったため、価格の維持につながった。豚と牛乳の価格は下がったものの、牛の価格は横ばいだった。食肉処理場の労働者不足により、養鶏農家との契約が一部中断されているとの報告もみられた。農地価格は再び上昇した。

(出所) シカゴ連銀経済報告を基にジェトロ作成